

# フライングディスク競技申し合わせ事項

開催日：令和5年5月27日（土）

会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

## 競技規則

本項に定める以外は、令和5年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

## 競技方法

- 予選は行わず各組ごと1回の決勝とする。
- アキュラシー競技は、輪のゴールへ5m又は7m 離れたスローイングラインから10回の連続試技を行う。
- ディスタンス競技は、1回の練習と3回連続の試技を、スローイングエリア内から行う。

## 招集方法

- 招集場所は、Aゲートを入った左奥とする。
- 招集完了時刻は競技開始の10分前とする。招集時刻に遅れた者は棄権とみなす。
- 招集から競技前までは、マスクを着用し静かに待ち、会話は控えること

## ナンバーカード

主催者の用意したもの（青色）をユニフォームの胸部と背部に付けること。

## 表彰

競技終了後、競技会場で行う。各組とも1位、2位、3位にメダルを授与する。

## その他

- 出場種目は次の中から1種目とする。

【アキュラシー競技（的入れ）】

1：ディスリート・ファイブ（5m）

2：ディスリート・セブン（7m）

【ディスタンス競技（距離）】

3：レディース・シティング（座位女子）

4：メンズ・シティング（座位男子）

5：レディース・スタンディング（立位女子）

6：メンズ・スタンディング（立位男子）

※「ぼうこう又は直腸機能障害」以外の内部障害者は「その他の内部障害」として申し込むこと。但し、全国大会選考の対象とはならない。

※「精神障害」は全国大会選考の対象とはならない。

- 競技用ディスクは、主催者が用意した「公認ディスク」を使用する。
- 監督者会議は実施しない。送付されたプログラムの訂正等は、事前に主催者（事務局）まで連絡すること。
- 適切な対応を行うため、参加区分（肢体、視覚、聴覚、内部、知的等）の略称をプログラムに記載する。
- 競技終了後の選手の解散場所は、正面スタンド裏に設置する。（予定）
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。  
※大会プログラム、ナンバーカード（青色）は事前に送付する。

※ 障害別参加区分

区分番号	障害区分
1	肢体不自由
2	視覚障害
3	聴覚障害
4	知的障害
5	ぼうこう又は直腸機能障害
6	その他の内部障害
7	精神障害